

木曾川の石ころ標本

きそ1



きそ5



きそ9



きそ13



きそ17



きそ2



きそ6



きそ10



きそ14



きそ18



きそ3



きそ7



きそ11



きそ15



きそ19



きそ4



きそ8



きそ12



きそ16



きそ20



木曽川の石ころ標本ラベル

<p><u>きそ 1</u></p> <p>石の名前 <u>花こう岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩</u></p> <p>石のとくちょう 大粒のごま塩状の岩石 (等粒状組織の岩石の典型例) カリ長石が白いので全体的に白っぽい。</p>	<p><u>きそ 5</u></p> <p>石の名前 <u>花こう閃緑岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩</u></p> <p>石のとくちょう 「きそ 4」と同じ石。黒い部分(閃緑岩)がある。</p>	<p><u>きそ 9</u></p> <p>石の名前 <u>花こう斑岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩と火山岩の間</u></p> <p>石のとくちょう 斑点状に白い大きな結晶(斜長石)が目立つ。 安山岩に比べ灰色っぽい部分(石基)が粗い。</p>	<p><u>きそ 13</u></p> <p>石の名前 <u>緑色岩^(海底に噴出した玄武岩などをもとにした岩石)</u></p> <p>石の区分 <u>変成岩</u></p> <p>石のとくちょう 緑色をしていることが多い。 ずしりと重い感じがする。 石灰岩のかけらを含むことがある。</p>	<p><u>きそ 17</u></p> <p>石の名前 <u>砂岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう よく見るとツブツブが見える。 砂が固まった岩石。</p>
<p><u>きそ 2</u></p> <p>石の名前 <u>花こう岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩</u></p> <p>石のとくちょう 大粒のごま塩状の岩石 (等粒状組織の岩石の典型例) カリ長石が肌色。</p>	<p><u>きそ 6</u></p> <p>石の名前 <u>花こう岩と閃緑岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩</u></p> <p>石のとくちょう 「きそ 5」に比べ黒い部分(閃緑岩)が多い。</p>	<p><u>きそ 10</u></p> <p>石の名前 <u>安山岩</u></p> <p>石の区分 <u>火山岩</u></p> <p>石のとくちょう 灰色の中に大きい黒い粒(輝石)と白い小さい粒(斜長石)が混じる(斑状組織の典型例)。</p>	<p><u>きそ 14</u></p> <p>石の名前 <u>チャート</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう スベスベしている。とても固い。 ぬらすと少し透明な感じがする。赤っぽい。</p>	<p><u>きそ 18</u></p> <p>石の名前 <u>砂岩・泥岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう 白っぽい砂岩の層と黒っぽい泥岩の層が互い違いに積み重なっている。</p>
<p><u>きそ 3</u></p> <p>石の名前 <u>花こう岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩</u></p> <p>石のとくちょう 大粒のごま塩状の岩石 (等粒状組織の岩石の典型例) 「きそ 1」に比べ白っぽい。</p>	<p><u>きそ 7</u></p> <p>石の名前 <u>花こう岩中の閃緑岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩</u></p> <p>石のとくちょう 「きそ 5」の中の黒い部分(閃緑岩)。</p>	<p><u>きそ 11</u></p> <p>石の名前 <u>安山岩(赤)</u></p> <p>石の区分 <u>火山岩</u></p> <p>石のとくちょう 黒い粒(輝石)や白い粒(斜長石)の様子は「きそ 10」に良く似るが、赤っぽい。</p>	<p><u>きそ 15</u></p> <p>石の名前 <u>チャート</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう スベスベしている。とても固い。 ぬらすと少し透明な感じがする。灰色っぽい。</p>	<p><u>きそ 19</u></p> <p>石の名前 <u>片麻岩</u></p> <p>石の区分 <u>広域変成岩</u></p> <p>石のとくちょう 白いシマとアズキ色のシマがミルフィーユのようにかさなっている。アズキ色の部分はキラキラしている。</p>
<p><u>きそ 4</u></p> <p>石の名前 <u>花こう岩</u></p> <p>石の区分 <u>深成岩</u></p> <p>石のとくちょう 大粒のごま塩状の岩石 (等粒状組織の岩石の典型例) 黒い粒が多いので「きそ 1」に比べやや黒っぽい。</p>	<p><u>きそ 8</u></p> <p>石の名前 <u>溶結凝灰岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう 一見、流紋岩のように見えるが、よく見るとレンズ状のもようが見える。半透明の灰色の粒(石英)が含まれている。</p>	<p><u>きそ 12</u></p> <p>石の名前 <u>溶結凝灰岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう 斑晶(白や黒の粒)の少ない黒っぽい安山岩のように見えるが、よく見るとシマもようが見える。</p>	<p><u>きそ 16</u></p> <p>石の名前 <u>レキまじり砂岩</u></p> <p>石の区分 <u>堆積岩</u></p> <p>石のとくちょう よく見るとツブツブが見える。 砂が固まった岩石。黒っぽいかけら(レキ)が多い。</p>	<p><u>きそ 20</u></p> <p>石の名前 <u>石英脈のレキ</u></p> <p>石の区分 <u>鉱物</u></p> <p>石のとくちょう 小さな石英の粒が集まっているので白っぽい。</p>

木曾川の石ころの特徴

大きな礫は、ほとんど花こう岩なので白っぽく見える。

一見、花こう岩ばかりに見えるが、小さな礫に着目すると中学校で習う岩石は石灰岩をのぞいてほとんど見つけることができる。

上流の中央アルプス主要部（木曾駒ヶ岳から南駒ヶ岳周辺）が花こう岩（約1億年前～7千万年前）でできており、なおかつ急峻な地形をしているため、大きな花こう岩礫（きそ1～4）が多い。

小さな礫に目を向けると活火山である御嶽山（約77万年前～40万年前と10万年前～現在）をつくっている安山岩（きそ10・11）や溶結凝灰岩（きそ12）、御嶽山の土台をつくっている付加体堆積物（約2.5億年前～1.5億年前）起源の砂岩やチャート（きそ14～18）を見つけることができる。

木曾川の河原



木曽川の石ころ



御嶽山と木曾川支流の王滝川

御嶽山は火山だが、土台は付加体堆積物（砂岩やチャート）からなる。

木曾駒ヶ岳より



宝剣岳から流れ下る木曽川支流の滑川

宝剣岳（中央アルプス主要部）周辺は、主に花こう岩からできている。



宝剣岳山頂付近より